

令和3年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和3年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

| 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | 評価 | 評価コメント |
|------|-----|---------|--------|----|----|----|------------------------|
| | | | R1 | R2 | R3 | | |
| 北海道 | 鹿部町 | 鹿部町 | ● | ● | ■ | A | ・総合的に目標の達成状況が優良と認められる。 |

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である宮林茂幸(東京農業大学教授)から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

宮林 茂幸

【意見聴取の概要】

- ・商品開発や改良を進め、4商品の販売が本年度からスタートしている。コロナ禍の中、町外での販促活動が難しい状況であったが、道の駅しかべ間歇泉公園での販売活動を中心に行い、4商品合計の販売実績は目標額を達成できている。
- ・本事業を通して取得した、新商品発のための資源発掘、活用、主体形成、販促活動の展開までのプロセスへの知見を活かし、地域おこし協力隊の定住促進、町内事業者等の商品開発支援などを引き続き実施することで、A級グルメまちづくりを推進されたい。